

経済・金融
フラッシュユーロ圏失業率(2023年9月)
—失業率はやや上昇したが、依然低い状況

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

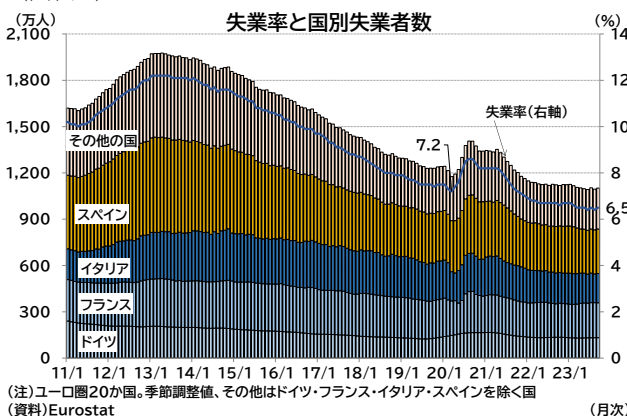
1. 結果の概要:失業率は6.5%にやや上昇

11月3日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

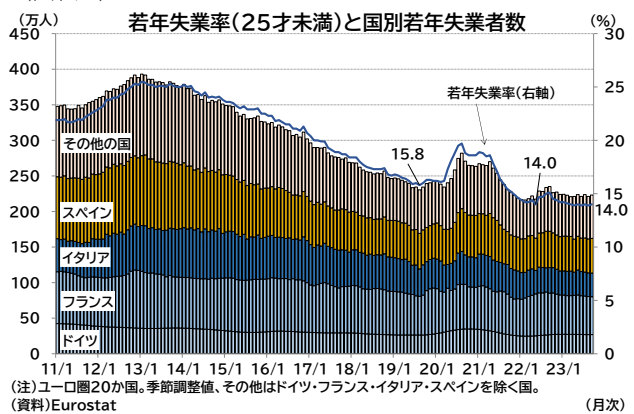
【ユーロ圏失業率(20か国、2023年9月、季節調整値)】

- ・失業率は6.5%、市場予想¹(6.4%)を上回り、前月(6.4%)から上昇した(図表1)
- ・失業者は1101.7万人となり、前月(1094.8万人)から6.9万人増加した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細:堅調な雇用環境は変わらず

ユーロ圏(20か国)の9月の失業率は6.5%で、統計データ公表以来の最低値だった8月(6.4%)から微増した(なお6月も6.4%で最低値を記録している)。また、過去データはほとんど改定されなかった。

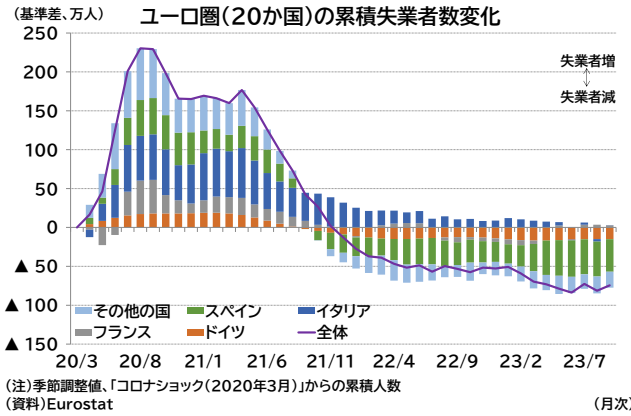
失業者数は9月の前月差で6.9万人増となり、8月の8.7万人減の後、再び増加に転じた(図表3・4)。主要4か国では、イタリア(+3.5万人)とスペイン(+3.1万人)が増加、ドイツ(▲0.1万人)とフランス(▲0.8万人)が減少した。ただし、ドイツやフランスの減少幅は限定的となった。

9月の若年失業率は14.0%で、こちらも8月(13.8%)からやや上昇した(図表2、若年失業率は8月・6月・4月が13.9%で最低値となっている)。過去データは6月以降の数値がやや悪化方向に改定された(6月改定前13.8%→改定後13.9%、7月13.9%→14.0%、8月13.8%→13.9%)。

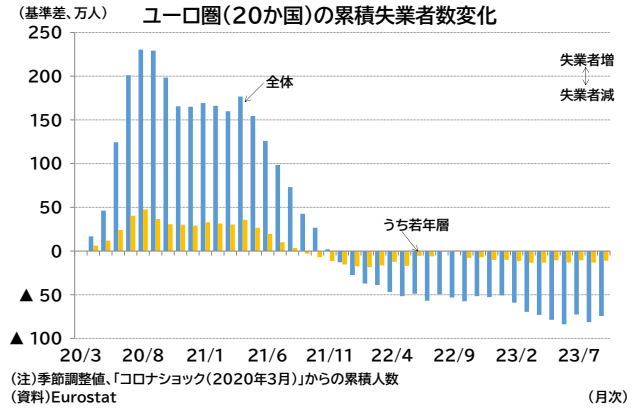
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

若年失業者数は9月で223.2万人（前月差2.1万人）となり、8月（前月差▲2.6万人）から増加に転じた。若年失業者数はコロナ禍後の最低値（216.1万人、22年2月）を上回る状況ではあるが、コロナショック直前の水準は下回っている（図表4）。

（図表3）

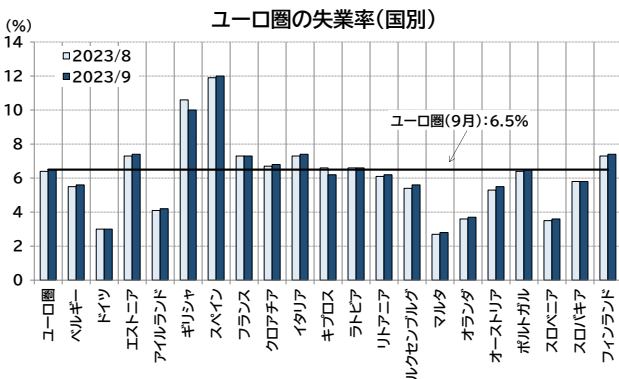


（図表4）

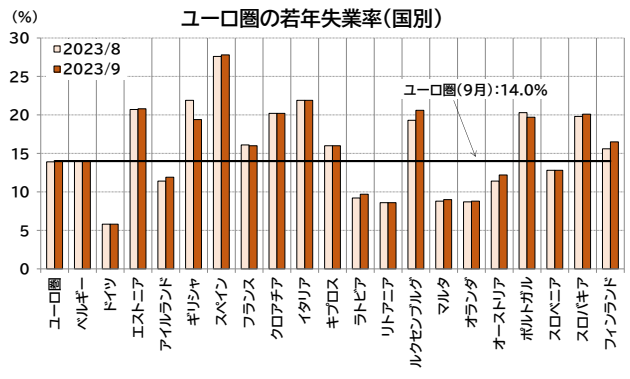


国別の9月のデータを見ると、失業率はデータが公表されている20か国中、悪化した国が14か国、改善が2か国、横ばいが4か国だった（図表5）。また、若年失業率は悪化した国が10か国、改善が3か国、横ばいが7か国だった（図表6）。

（図表5）



（図表6）

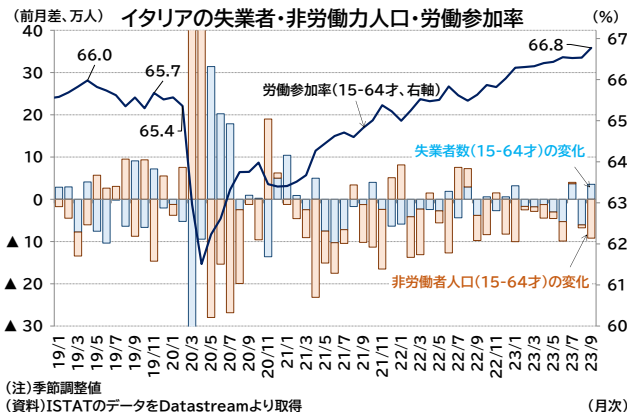


（資料）Eurostat

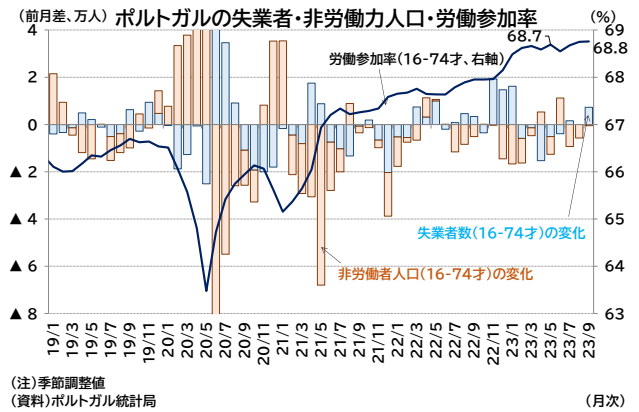
（資料）Eurostat

最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が増加したが、非労働力人口がそれ以上に減少し、就業者は増加した（図表7）。一方、ポルトガルは失業者が増加、非労働人口も増加したが微増にとどまっており、限定的で就業者が減少した（図表8）。なお、いずれも労働参加率はコロナ禍後のピークを更新している。

（図表7）



（図表8）



（注）季節調整値
（資料）ISTATのデータをDatastreamより取得

（注）季節調整値
（資料）ポルトガル統計局

（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。